

◆【海員随想】B I S K R A 号航海記（20）④ 新木繁雄

7 月 6 日 クアンタン

夜のうちに積荷が進み、2 番ハッチはウインチ、テーブル（デッキから 5 メートルほど高い位置で、ウインチを操作する所）よりも高くなっている。

ツインクレーンから油が漏れているらしいというので、見に行った。先日、シンガポールでパイプがすっぽ抜け、床に溜まっていた漏れた油が、船の傾きが変わったため流れ出したものだった。クルーに拭き取りさせた。

武村が「洗濯機で洗濯中のシャツがなくなった」というので、私も昨日洗濯して乾燥室に干してあるシャツを見に行った。ない。C/O は作業用のエンカン服を、やはり乾燥室で盗まれたという。私のシャツは、盗まれたってどうってことがない代物だが、なくなればやはり都合が悪い。

シンガポールで、濡れたクレーンの作動油がまた漏れ出し、あと 1、2 回吊り上げれば終わりというところで、動かなくなってしまった。作動油 20 リットル補給。終わったら徹底的に修理しよう。

作業が終わって人夫が帰るとき、舷門で全員の持ち物を調べたが、なくなったシャツ類は出てこなかった。そのかわり、ほとんど全員のバッグから、ジャガイモ、タマネギがごろごろ出てきた。船の冷蔵庫から取ってきたらしい。取ってきた所へ戻させた。

出帆は明朝 6 時と決まった。

7 月 7 日 7 時 30 分 クアンタン出港

アンカーの収まり具合が気になり舳先へ行ってみた。シンガポールで溶接した鉄片に両方ともうまく乗ってくれなかった。何度やり直しても駄目。C/O は「もういい」というので止めた。

昨日、油漏れしたクレーンのパイプを外してみたら、またすっぽ抜ける寸前だった。今度は十分に差し込み、先端を締めたから、もうすっぽ抜けることも、油が漏れることもないだろう。

ミッドナイト頃、シンガポールを右に見ながら通過した。東洋一の夜景といわれるだけあって、すごくきれいだ。それに最近、高層ビルが目立つようになった。

7 月 8 日 マラッカ海峡

走った日数からいえば、今日あたりターボチャージャー水洗いの日だが、海峡を通過中なので明日にした。午前の機関室チェックの後、船長に会ったので、前回アルジェで税関にシールされたままになっている「こけし人形」を出してもらった。たしか 12 個あったはずだが、11 個になっている。

日曜日の昼は、船長室でミーティングだが、海峡通過中で船長はブリッジへ上がっているので中止。でも、午後 4 時からの防火・退船訓練はいつもの通り行われた。ついでに非常用消火ポンプの試運転も行い、デッキに放水した。

「海員だより」